

緩和ケア分野の令和3年度取組状況と令和4年度取組の方向性（緩和ケア分野）

第3次計画中の行動計画		令和3年度取組状況（令和4年1月末現在）		令和4年度取組内容・方向性
取組項目	方向性	取組内容	取組状況	
がん と 診 断 さ れ た 時 か ら の 緩 和 ケ ア	施設緩和ケアの充実	□ 施設緩和ケアの質の向上を図ることを目的として、緩和ケア病棟アクションプランの策定や検討会を実施する。	<p>■緩和ケア病棟アクションプラン</p> <p>○「with コロナでの緩和ケア病棟の取組」を全13施設共通テーマとしてプランの実現に向け取り組んだ。アクションプランの課題や問題点を把握するとともに、各施設のアクションプランを全施設で共有した。</p> <p>■緩和ケア病棟運用状況調査</p> <p>○R2年度調査を実施し、調査結果を取りまとめた。調査結果は広島がんネットで公表した。</p> <p>○H26～R2年度までの調査結果を取りまとめた。</p> <p>■緩和ケアチーム活動状況調査</p> <p>○がん診療連携拠点病院以外の病院における緩和ケアの質の向上を図ることを目的とした調査を実施した。</p> <p>○県独自の基準(5項目)全てを満たす施設を「緩和ケアチームによる医療やケアを受けられる施設」として広島がんネットに掲載した。</p> <p>■施設緩和ケア推進に関する検討会</p> <p>○質の高い施設緩和ケアを確実かつ円滑に提供する体制の整備に必要な取組について検討することを目的に、オンラインで開催。</p> <p>【日程】R4年1月25日(火) 【参加者】県内の緩和ケア病棟を有する施設の担当者等</p> <p>【内容】R4年度のアクションプランのテーマについて、R2年度緩和ケア病棟運用状況調査の結果について等</p>	<p>○ 継続実施する。共通テーマは「緩和ケア病棟における地域連携の取組」。</p> <p>○ 調査を継続実施する。</p> <p>○ 5か年の調査結果の取りまとめを公表する。</p> <p>○ 必要に応じて基準の見直しを行ったうえで、調査を継続実施し、広島がんネットにより周知する。(基準を満たしていない施設に対しては働きかけを行う。)</p> <p>○ 県内の緩和ケア病棟を有する全施設が参集するこの会議を年1回開催し、緩和ケア病棟の質の向上のための取組等について検討する。</p>
	緩和ケアに携わる人材育成・確保	□ 基本的緩和ケア及び専門的緩和ケアに携わる人材を育成・確保するために、研修の実施や人材育成に係る支援を行う。	<p>■がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会</p> <p>○がん等の診療に携わる全ての医療従事者が、基本的な緩和ケアについて正しく理解し、緩和ケアに関する知識や技術、態度を習得することを目的に、各がん診療連携拠点病院において実施する研修。11病院で各1回(1病院で2回開催)開催済(修了者数220人)。R4.1月及び2月に2病院で実施予定。</p> <p>■緩和ケア看護師研修</p> <p>○地域や施設において基本的な緩和ケアを提供できる看護師を育成することを目的に、緩和ケアの基本的知識と技術を習得するための研修を広島県看護協会で開催した。</p> <p>【日程】広島会場 R3年10月26日(火)・27日(水)、福山会場 R3年10月5日(火)・6日(水)</p> <p>【修了者数】計64名(広島会場49名、福山会場15名)</p> <p>■緩和ケア薬剤師研修</p> <p>○地域や施設において緩和ケアを提供できる薬剤師を育成することを目的に、緩和ケアの専門的知識と技術を習得するための研修を広島県薬剤師会で開催した。</p> <p>【日程】R3年9月5日(日)・10月3日(日)</p> <p>【修了者数】31名</p> <p>■緩和ケアチーム研修(派遣コース)</p> <p>○緩和ケアに関する専門的知識や技術を習得すること、及びチーム合同で受講することにより、各施設における緩和ケアチーム活動の質を向上させることを目的に、県内の国指定がん診療連携拠点病院に医師、看護師、薬剤師等による緩和ケアチームメンバーを合同で派遣し、研修を実施した。</p> <p>【チーム①】派遣:メリィホスピタル 受入:広島大学病院 期間:R3年11月16日(火)、17日(水)</p> <p>【チーム②】派遣:広島記念病院 受入:広島市民病院 期間:未定(新型コロナウイルス感染状況により延期。年度内実施予定。)</p> <p>■認定看護師養成に係る経費支援</p> <p>○緩和ケア・がん性疼痛看護認定看護師等を養成する施設に対し、受講費及び代替職員を採用した場合の人員費を補助した。</p> <p>交付決定先:県立広島病院 1名</p>	<p>○ 緩和ケア研修の医師の受講率が90%以上の拠点病院数(R2年度実績5病院)の増加を図るとともに、広島がんネットによる広報や、緩和ケア病棟・緩和ケアチームを有する施設への情報提供等により、診療所の医師や、医師以外の医療従事者の受講を促進する。</p> <p>○ 広島県看護協会が実施する本研修会について、県は引き続き広報支援(広島がんネットへの掲載等)を行う。</p> <p>○ 広島県薬剤師会が実施する本研修会について、県は引き続き広報支援(広島がんネットへの掲載等)を行う。</p> <p>○ 県内施設の緩和ケアチームの質の向上に向け、来年度も引き続き派遣を行う。</p> <p>○ 補助を継続実施する。</p>
	緩和ケアに対する正しい理解の促進	□ 県ホームページや啓発資材により、緩和ケアに関する情報をわかりやすく発信する。	<p>■「広島がんネット」への緩和ケアに係る情報の掲載</p> <p>○追加・修正の有無を確認し、「緩和ケアチームによる医療やケアを受けられる施設」23施設を、基準とともに掲載した。</p>	○ 広島がんネットの緩和ケア分野について、利用者が必要とする情報をタイムリーに発信・更新する。
社会 全 体 で 取 り 組 む 、 が ん 対 策 、 が ん 患 者 支 援	在宅緩和ケアの充実	□ 各圏域における在宅緩和ケア提供体制の整備に向け、各圏域地対協において検討体制の整備や介護・福祉関係者向けの研修会を実施する。	<p>■介護・福祉関係者研修(圏域地対協に委託)</p> <p>○在宅等で療養するがん患者が、安心して緩和ケアを受けられる体制を整備することを目的に、がん医療や緩和ケアに関する正しい知識・技術を習得するための介護・福祉関係者向け研修を圏域ごとに実施した。</p> <p>■在宅緩和ケア提供体制整備に向けた取組</p> <p>○在宅緩和ケアについては、在宅医療の一部として、地域包括ケアシステムの取組と一体的に行っていく必要があることから、圏域地対協を中心に検討されている在宅医療・介護連携推進の取組の中で、既存の会議体等を活用して、在宅緩和ケアについての検討を行った。</p> <p>> 圏域地対協に検討を行う場が整い、検討を行った。(広島市を除く)</p> <p>■在宅緩和ケア推進に関する検討会</p> <p>○今後の体制整備を円滑に進めていくための情報共有を行うため、各圏域における在宅緩和ケア提供体制構築に向けた取組について、専門家の意見を基に、地域における課題を整理する。</p> <p>【日程】3月予定 【出席者】県保健所(支所)職員、アドバイザー(在宅医、看護師、認定がん専門相談員等)</p> <p>【内容】各圏域における在宅緩和ケアに関する研修の実施状況及び来年度以降の在宅緩和ケア提供体制構築に向けた取組について等</p>	<p>○ この研修は3か年計画で実施してきており、R3年度が最終年度となるため(H30年度から開始しR2年度は中止)、R4年度以降は、各圏域地対協に設置されている検討の場において、引き続き、地域のニーズに応じた在宅緩和ケアの提供に関する検討や研修会等を実施する。</p> <p>○ 県内全域を対象とした介護職向けの在宅緩和ケアセミナーや、在宅緩和ケアの実態把握のための在宅医調査を実施する。【参考資料4】</p> <p>○ 全県的な課題把握のため、各圏域地対協と連携しながら引き続き情報収集を行う。</p> <p>○ この会議を年1回開催し、在宅緩和ケアに係る全県的な課題について整理する。(構成員は見直す予定)</p>